

## 第22回 EMDR Weekend 2 トレーニングへのお誘い (旧名称Part2)

初夏の候、みなさまにはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

Weekend 2 で扱うさまざまな手続きは、より複雑で深刻な外傷記憶を上手に扱う大きな手助けとなります。否定的な記憶の再体験をより短く、より楽に済ませることで双方の負担が軽減できます。今までのみなさんの臨床感覚を活かす柔軟な方法も見えてきます。

継続研修の機会も充実してきていますので、その前提となる Weekend 2 トレーニングに是非ご参加いただけますようにご案内申し上げます。

講師は同研究所のシニア・トレーナーであり、兵庫教育大学発達心理臨床研究センタートラウマ回復支援研究分野教授の市井雅哉が務めます。急性、慢性の PTSD、恐怖症、ストレス、不安障害、うつ病の査定と治療が専門、約 30 年の臨床歴を持ち、現在、日本 EMDR 学会理事長、日本行動療法学会理事、日本心理臨床学会理事、EMDRIA 編集理事を務めています。これまでに EMDR に関して日本 EMDR 学会、日本外来精神医学会、日本カウンセリング学会、日本健康心理学会、日本行動療法学会、日本催眠学会、日本児童青年精神医学会、日本心身医学会、日本心理臨床学会、日本トワテックストリス学会、日本認知療法学会、日本バリエイティブ・バック学会、日本ブルー・アインセル学会、日本臨床催眠学会、WCBC (世界行動療法認知療法会議)、韓国 EMDR 協会、アジア EMDR 学会などで講演歴を持っています。臨床心理士。専門行動療法士。

また、解離に関する専門講義は、甲南大学教授の福井義一が務めます。日本 EMDR 学会理事、同学会認定コンサルタント、EMDR Institute 認定 Facilitator。日本臨床催眠学会理事、同学会認定臨床催眠指導者資格所持、日本催眠医学心理学会常任理事、日本心理学会評議員。Somatic Experiencing の認定プラクティショナー、上級アシスタントと上級セッション・プロバイダー、TFT (思考場療法) の専門家養成トレーナー資格を有します。Ego State Therapy Japan 代表。専門は、トラウマと愛着、解離に関する研究と、身体志向のトラウマ・ケアです。臨床心理士、専門健康心理士。

この Weekend 2 のトレーニングの 3 日間の全てのセッションに参加し、さらに、規定のベーシック・コンサルテーションを修了なさった方は、日本 EMDR 学会発行の EMDR トレーニング修了証が授与されます。

日 程：2016 年 8 月 5 日(金)、6 日(土)、7 日(日)

1 日目 受付開始 9 時、研修開始 9 時 30 分 / 2 日目、3 日目 研修開始 9 時

- 昼食休憩 60 分、昼食は各自
- 終了は 3 日とも 5 時 (2 日目の夜には希望者による懇親会を計画しています (参加費別途))

参加資格：下記●参加資格をご覧ください。

定 員：72 名 (予定)

参加費：72,000 円 (税込み。ベーシック・コンサルテーション代 5 時間分を含む。詳しくは別紙参照)

宿泊代金は含みません。宿泊の手配は各自でお願いします。

受付期間：優先受付 2016 年 6 月 13 日(月)～20 日(月)

一般受付 2016 年 6 月 24 日(金)～7 月 1 日(金) (消印有効。審査後に参加可能かどうか連絡いたします)

会 場：明治大学駿河台キャンパス 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1

- JR 中央線・総武線、東京メトロ丸の内線/御茶ノ水駅より 徒歩 3 分
- 東京メトロ千代田線/新御茶ノ水駅より 徒歩 5 分
- 都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線/神保町駅より 徒歩 5 分

●参加資格・・・日本 EMDR 学会が定めた参加資格

医師・・・免許取得後、精神科・心療内科・小児科などの領域で 2 年以上の臨床経験を有する方。

心理職・・・臨床心理士資格認定協会資格「臨床心理士」資格取得者。

●Weekend 2 トレーニングの受講は 規定により、Weekend 1 修了後、一定期間の臨床実践（3ヶ月以上）を経てからでないと認められません。Weekend 1 修了後の実施状況を受講許可の審査に使用しますので、規定用紙に記入ください。

●EMDR（眼球運動による脱感作と再処理法）は、フランシーン・シャピロ博士が PTSD（心的外傷後ストレス障害）の治療のために 1989 年に発表した心理療法で、迅速かつ効果的な方法です。APA（アメリカ心理学会）、ISTSS（国際トラウマ研究学会）、英国保健省、イスラエル、フランス、米国防省、ドイツ、オランダ、北アイルランド、スウェーデン、オーストラリア、WHO などでも PTSD に対する EMDR の効果を実証されたものとして評価しています。最近では、EMDR の適用範囲は、多くの不安、うつといった精神疾患から疼痛といった身体疾患までより広がっています。その過程で用いられる眼球運動が、情報処理モデルにおける神経生理学的活動を刺激することで外傷的な記憶の再処理を引き起こします。Weekend 1 トレーニングの修了で単回の PTSD や単一恐怖などに対応でき、Weekend 2 まで修了すると複雑性 PTSD、解離性障害、社会恐怖や人格障害などにも柔軟に対応できるようになります。

●シャピロ博士は カリフォルニア州パロアルトにある MRI (Mental Research Institute) の主任研究員、EMDR 研究所の所長、人道支援の NPO 組織 EMDR-HAP の代表、The American Academy of Experts in Traumatic Stress の理事、Traumatology の編集委員を勤めています。30 以上の EMDR 関連の著作があり、世界中でトレーニングを行っています。

●研修は大きく、講義と実習、全く別日程のベーシック・コンサルテーション（別紙参照）に分かれています。講義は市井雅哉、福井義一による一斉講義ですが、実習では参加者は 3～4 人一組で役割を交代しながら実習をします。9～10 人に 1 人の割合でファシリテーターが付き、実習をスーパーバイズします。この体制は、実習場面での急速な心理的变化に適切に対応するためのものです。

●ファシリテーター：太田茂之（生活心理相談室ナヌーク）、菊池安希子（国立精神神経医療研究センター）近藤千加子（ディーパ心理オフィス）、白川美也子（こころとからだ・光の花クリニック）、竹内伸（さきお英子子ども心のクリニック）、仁木啓介（ニキ・ハーティー・ホスピタル）、福井義一（甲南大学）、本多正道（本多クリニック）らが実習をスーパーバイズします。また、ほとんどのファシリテーターがコンサルタントとして、ベーシック・コンサルテーションを提供します。

#### ● 申し込み方法

- 優先受付：主催者事由で延期となった今年 3 月の Weekend2 トレーニングを受講予定だった方が対象となります。参加の可否を 2016 年 6 月 20 日までに、事務局にお返事ください。
- 一般受付：同封申し込み書 2 頁（（申込用紙&実施状況報告書）HP でも入手可能）に所定事項をすべてご記入の上、返信用封筒としてご自分の住所、お名前を記入なされた定形最大封筒（A4 用紙が 3 つ折りで入るサイズ）に 82 円切手を貼って同封し、下記までご送付ください。2016 年 7 月 1 日（金）の消印有効とさせていただきます。先着順ではありません。この日以降に資格審査の後、受講いただける方には会場の地図、入金方法等を返送しますので、その指示に従い、参加費をお払いください。入金を確認した時点で、予約参加者証をお送りいたしますので、当日会場にお持ちください。1 週間以上入金が遅れるとキャンセル扱いとなることもありますのでご注意ください。（今回は若干名の募集となります。あらかじめご了承ください。）

●申し込み・問い合わせ先：下記で承ります。会場への直接のお問い合わせはご容赦ください。

主催：日本 EMDR 学会\*

事務局：〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1 兵庫教育大学 市井研究室

TEL & Fax: 0795-44-2278 e-mail: info@emdr.jp URL: www.emdr.jp

\*日本 EMDR 学会 は EMDRIA（国際 EMDR 学会）から日本での EMDR に関する研修認定、資格認定を行う組織として認定されました（2004.2.26）。

EMDR トレーニング (Weekend 2 東京) 参加申込用紙

(すべての項目は楷書で、英文表記はブロック体でもれなく記入して下さい)

①氏名			
②①の英文表記			
③主たる所属機関名・ 部門・役職名			
④③の英文表記			
⑤資格(免許)・登録 番号および資格発行 機関・団体名			
⑥⑤の英文表記			
⑦住所(勤務先)	〒	フリガナ	
	電話	Fax	
	E-mail		
⑧住所(自宅)	〒	フリガナ	
	電話	Fax	
	E-mail		
⑨連絡先の希望	勤務先・自宅(○をつけて下さい)		
⑩最終学歴(学部・専攻を 明記のこと)			
⑪心理・精神科 臨床経験年数	年	⑫主たる心理・ 精神科臨床の機関名	
⑬指導者・推薦者名	(精神科医・臨床心理士・その他)		
⑭所属学会名			
⑮(その英文表記)			

年 月 日申し込み 署名:

Weekend 2 受講希望者は「EMDR 実施状況報告書」ももらさず記入のこと。このページのみでは受け付けませんのでご注意ください。

# EMDR 実施状況報告書

以下に、Weekend 1 修了後の EMDR 実施状況を正直にお知らせください。治療が成功かどうかを受講許可の判断基準には致しません。どの程度の実施状況で受講許可が下りるかは予測できません。3名分のクライアントへの適用記録をご報告頂ける用紙（この用紙）をお使い下さい。

氏名： \_\_\_\_\_

Weekend 1 受講年月： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月                  場所： \_\_\_\_\_

EMDR 適用ケース数： \_\_\_\_\_ 名、EMDR 適用のセッション数： \_\_\_\_\_ セッション

# 1	男・女	才	これまでのセッション数：	の EMDR セッション数：
			ターゲット記憶： NC： PC： その他、特記すべき情報	
# 2	男・女	才	これまでのセッション数：	の EMDR セッション数：
			ターゲット記憶： NC： PC： その他、特記すべき情報	
# 3	男・女	才	これまでのセッション数：	の EMDR セッション数：
			ターゲット記憶： NC： PC： その他、特記すべき情報	

これまでに終了したベーシック・コンサルテーション時間（ 時間） コンサルタント名： \_\_\_\_\_

その他参考になりそうな情報：